

# 陸域生態系管理論分野



ザンビア/焼畑は持続的か？

舟川晋也（教授）

真常仁志（准教授）

渡邊哲弘（助教）

岡本侑樹（特定助教）

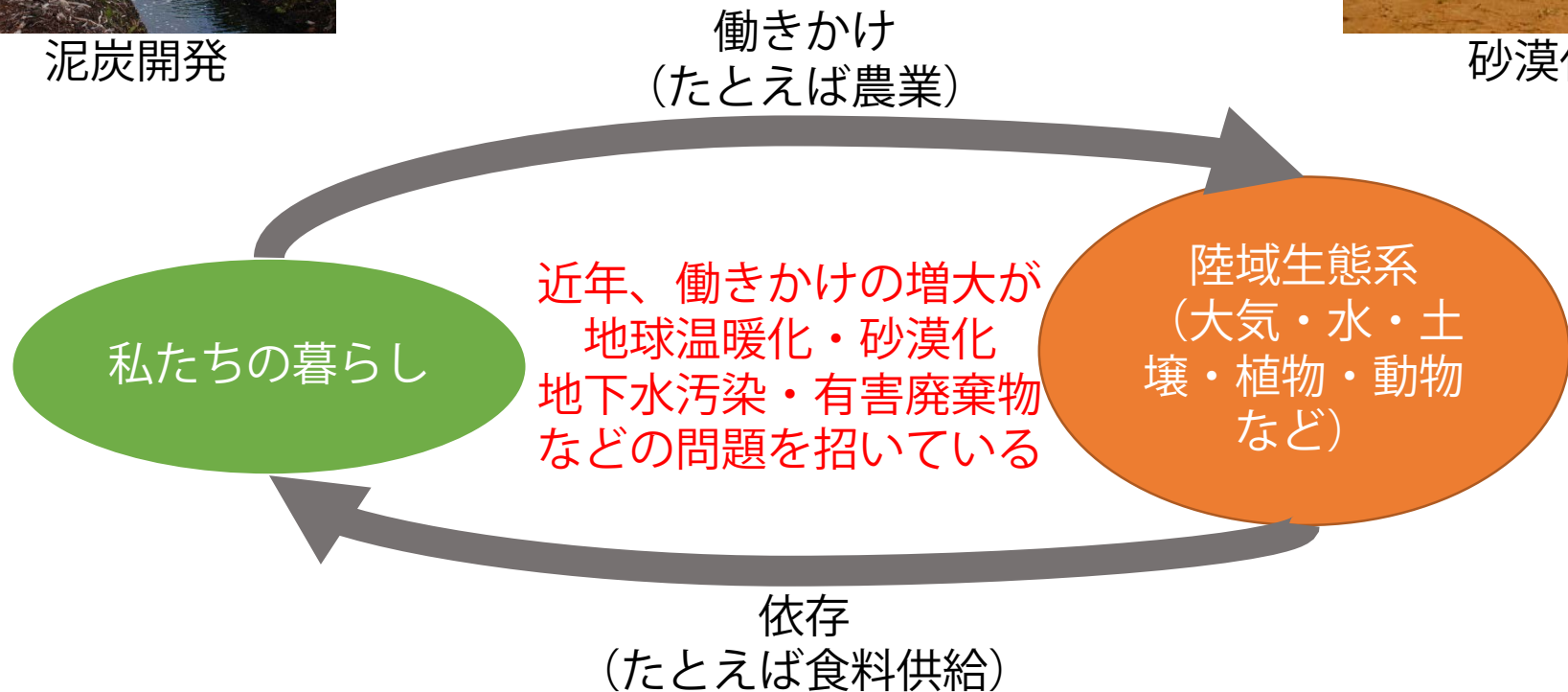
# 今後のあるべき陸域生態系の姿と 私たちの働きかけのあり方とは？



泥炭開発



砂漠化



1. 生態系内をダイナミックに移動する炭素、窒素、リンなどの元素の動態を物理的・生物的プロセスの面から明らかにする
2. 私たちの働きかけに伴うこれらプロセスの変容を解明し、将来予測を行う
3. その社会背景についても同時に吟味する

# 最近の研究課題（修士・博士の研究テーマより）

## 生態環境と暮らしを複合的に理解する

- ベトナム中部の山間地域における少数民族の暮らし向上とは？
  - ネパール山間部における屎尿の農業利用の可能性
  - インド・ガンジス川流域における保全農業の可能性
  - カザフスタン・アラル地域における木材資源の管理
  - モンゴルの遊牧民族による携帯電話の利用が生活と生態環境に与える影響
- 南部アフリカ・ナミビアにおける住民の樹木利用は砂漠化を引き起こすか？
  - カメルーン東部州の村落における生計手段の概況とその変遷
  - タンザニア・キリマンジャロ山において土地管理が土壌肥沃度に及ぼす影響
- 日本の里山における人々の暮らしと自然利用

# 提案予定の研究テーマ例

## アジア

- ヤシと熱帯林の共存は可能か？  
(インドネシア・スマトラ島、森林保全)
- カザフスタン市民による自律的資源管理システムの構築  
(カザフスタン、砂漠化対処)

## アフリカ

- 西アフリカ・コンゴ盆地における自立的・持続的生業戦略の確立  
(カメルーン東南部、国際協力・森林保全)
- 砂漠化対処に向けた生態環境と生業の相互作用の解明  
(半乾燥熱帯アフリカ、砂漠化対処)

## 汎アジア・ アフリカ

- 商業的熱帯農業における養分流出負荷軽減に関する研究  
(タイ、タンザニア、環境保全)
- 熱帯アジア・アフリカにおける気候変動適応型農業の創出  
(アジア・アフリカ諸国、農業開発)

## 日本

- 里山利用の生態系生態学 (日本、環境保全)

\* 他研究科、地球環境学舎の他分野との共同研究も行なっています

## インターン研修派遣先

カメルーン・JICA、タンザニア・ソコイネ農業大学、  
インドネシア・ボゴール農業大学、ベトナム・フエ農林大学、  
ラオス・ラオス国立大学、カザフスタン・農芸化学研究所、  
カザフスタン・カザフ国立農業大学、  
日本・NICCO、日本・総合地球環境学研究所、  
日本・余呉町摺墨山菜生産加工組合

## 就職先

京都大学、フエ農林大学、環境省、JICA、  
NTCインターナショナル、アルメックVPI、三祐コンサルタンツ、  
戸田建設、三井物産、IBJ、アジア保健研修所



# 現地調査



カザフスタン/テンシャン山脈



ベトナム/雨季水没した水田地帯



カメルーン/多雨林の川を渡る



タンザニア/圃場実験